諏訪市博物館 特別展

『諏訪史』第一巻 刊行一〇〇年記念展

諏訪郡内7館合同企画

諏訪郡内6市町村と諏訪教育会が、ひとつになっての取り組み。各市町村の当時の遺跡や遺物の展示とともに、当時の時代観と現代との違いを各館で分担解説。

〝鳥居龍蔵が言う〟

「この郡史は
大根の輪切りの様であつて、
その一つの切つた小さな輪は
本郡の地方史であるが、
この輪をすべて続けて見た
一本の大根は日本史である」

崇高な理念の元、地方史の「金字塔」といわれた『諏訪史』第一巻は、足掛け7年、1924(大正13)年に刊行された。

会場と展示内容

星ヶ塔ミュージアム 矢の根や《旧石器時代観》
井戸尻考古館《縄文時代観1》
八ヶ岳美術館 原村歴史民俗資料館《縄文時代観2・原始芸術観》
市立岡谷美術考古館《弥生時代観》
諏訪市博物館《古墳時代観》
茅野市尖石縄文考古館《「尖石」の誕生》
諏訪教育博物館《『諏訪史』から歴史ハンドブック》
協力：諏訪考古学研究会

(註：当時の時代名称は現代のように縄文時代・弥生時代ではなかった。従って各時代を「…観」と仮に表現した)
※各館の入館料、開館時間、休館日等についてはそれぞれの館にお問合せください。

100年前の成果を
振り返り、
100年の重みを感じたい。

【会期】
2025年2月1日(土)～3月30日(日)

霧ヶ峰旧御射山を調査する鳥居龍蔵たち

【特別展】

『諏訪史』第一巻刊行100周年記念

諏訪の考古学史を振り返る

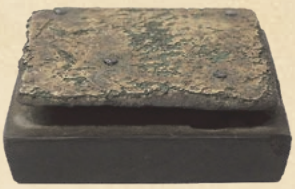
『諏訪史』は「郡史」とも呼ばれる、諏訪地域6市町村の歴史をまとめた書籍です。その記念すべき「第一巻」は100年前の大正13年(1924)12月に発行されました(第五巻は昭和61年に発行)。

「第一巻」は縄文時代から古墳時代の考古学分野を対象として、図や写真も使いながら、諏訪市を含む郡内全体の歴史を、専門的でありながら端的に記した書籍です。当時としては最高水準の地域史・郷土史の専門書でした。

当館では『諏訪史』に関連する資料などを所蔵しており、「第一巻」関連では、田実文朗(現 片倉館考古資料)、両角守一、瀧沢益作(現 藤森栄一考古資料)が収集・調査した遺物が収蔵されています。また、『諏訪史』に掲載された写真についても、その原板(ガラス乾板)の多くを所蔵しています。鮮明な画像からは大正時代頃のさまざまな情報を読み取ることができます。本展では「第一巻」に掲載された資料を中心に紹介します。

また、諏訪地域の各博物館との連携展示として、当館では古墳時代に関する資料の展示を行います。

綿ノ芝古墳出土の土師器・須恵器(市有形文化財・当館所蔵)



大熊二子塚古墳出土の石製巡方(下)と金銅装留金具(片倉館所有・当館寄託)

大熊二子塚古墳出土の馬具や鉄鏃など(市有形文化財・大熊区所有・当館寄託)

人体文様のある縄文土器(岡谷市海戸遺跡・両角守一資料・当館所蔵)

講演会

『諏訪史』第一巻や郡史編纂に関わった人物や遺跡などについて、学史的な視点でお話しいただきます。また、当館が所蔵するガラス乾板や遺物についての紹介を行います。

日　時: 3月1日(土) 午後1時30分～午後4時
講　師: 三上徹也(大昔調査会)
　　児玉利一(当館学芸員)
会　場: 諏訪市博物館
定　員: 40名(先着・事前申し込み)
料　金: 入館料がかかります
申し込み: 2月5日(水)から 電子申請・メール・電話(休館日を除く午前9時から午後5時)で受付します。

電子申請

西山の遺跡を歩こう

日　時: 3月23日(日) 午後1時～午後3時
集　合: 西山公園駐車場
定　員: 15名(先着・事前申し込み)
解　説: 児玉利一(当館学芸員)
料　金: 無料
申し込み: 2月5日(水)から 電子申請・メール・電話(休館日を除く午前9時から午後5時)で受付します。

電子申請

展示解説

日　時: 2月2日(日)・2月22日(土)・3月16日(日)
　　各日とも午後1時30分～午後2時／申込不要

SCM Suwa City Museum 諏訪市博物館
〒392-0015 長野県諏訪市中洲171-2
TEL.0266-52-7080　FAX.0266-52-6990
https://suwacitymuseum.jp　E-mail suwamu@city.suwa.lg.jp

■開館時間／午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)
■休 館 日／月曜日・祝日の翌日
■入 館 料／一般310円・小中学生150円(団体20名以上 一般200円・小中学生100円)
　諏訪地方在住・在学の小中学生は無料。
■交通案内／JR上諏訪駅よりバス・タクシー利用(バス約30分「上社」下車)、
　JR茅野駅よりタクシー利用で約15分、中央道諏訪ICより車で5分

博物館HP